



相馬地方広域消防本部に 「高機能消防指令施設」が導入されます

相馬地方広域消防本部及び南相馬消防署は、南相馬市消防・防災センターと一体的に整備されています。新庁舎には、「高機能消防指令施設（通信指令室）」が設置され、相馬市・南相馬市・新地町・飯舘村からの119番通報を一括して受付をいたします。

この施設では、119番通報の着信と同時に発信地の地図情報や電話番号が自動表示され、出動場所の特定と出動までの所要時間を短縮できることから、火災被害の軽減や救命率の向上に大きな期待が寄せられております。（写真は現在整備中の通信指令室）

～平成27年3月24日から運用が開始されます～

災害情報テレホンサービスの番号が変更となります

平成27年1月29日から相馬地方の災害情報テレホンサービスの番号が下記のとおり変更となります。点線部分を切り取り、ご家庭の見えるところに貼ってご利用ください。



相馬地方の災害情報
テレホンサービス

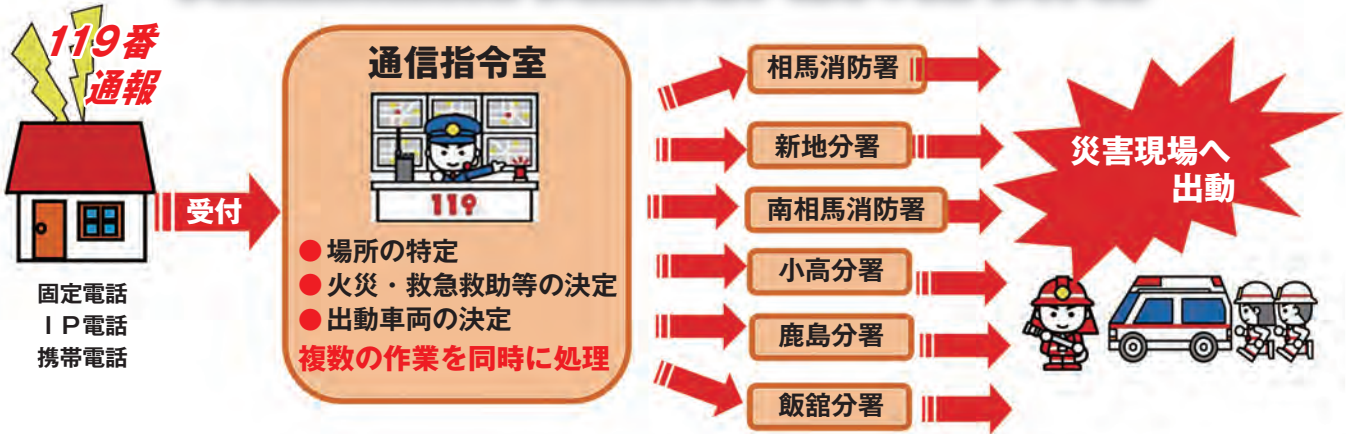
(0244)
24-0444

* 消防・救急に関するお問合せは、お近くの消防署・分署へ

相馬消防署	(0244) 36-2181
新地分署	(0244) 62-2117
南相馬消防署	(0244) 22-2186
小高分署	(0244) 44-2212
鹿島分署	(0244) 46-5118
飯舘分署	(0244) 42-0119

※119番は
緊急通報専用の
番号です。

高機能消防指令施設導入後の指令体制



高機能消防指令施設導入により、正確でより迅速な災害対応が可能となります。地域住民の皆様が安全・安心に暮らせるよう、消防・救急体制の充実・強化を図ります。

高機能消防指令施設とは

当圏域を構成する市町村（相馬市・南相馬市・新地町・飯館村）から集約された119番通報を受付け、緊急通報者の発信地位置情報、災害通報の覚知、出動車両の自動編成及び出動指令といった現場活動の支援を統括する高度にIT化された施設です。

119番通報の受付から出動指令、車両の運用状況を管理する消防指令管制システムと、危険物施設や消防水利の位置情報、さらには地域救急医療情報を連携した支援機能を有する支援情報管制システムの2つに大別されます。



主要機器についての紹介

統合型位置情報通知装置



119番通報受付後に、通報者の位置情報を瞬時に受信します。情報は地図検索装置画面上にダイレクトに表示され、救急や火災発生時の災害活動を迅速かつ的確に支援します。

車両運用端末装置



Automatic (自動)
Vehicle (車両)
Monitor (管理装置)

消防車や救急車に搭載される車両運用端末装置 (AVM) は、車両内に取付けて指令情報を受信し、災害地点までのルートナビゲーションを行うほか、目的地を住所や電話番号で検索できるシステムを有します。また、機器に設置されたGPS機能により、指令室で指令員が車両の位置情報を把握でき、直近の車両を選定して出動を指令する事も可能となります。これら機能を最大限に活用することで、災害現場への到着や病院搬送の時間が短縮され、より良い住民サービスの向上を図ります。

聴覚や音声、言語障がいなどで会話による119番通報が難しい方は、携帯電話からのメールやファックスでの「119」送信も可能になります。
※通報には事前の登録が必要です。

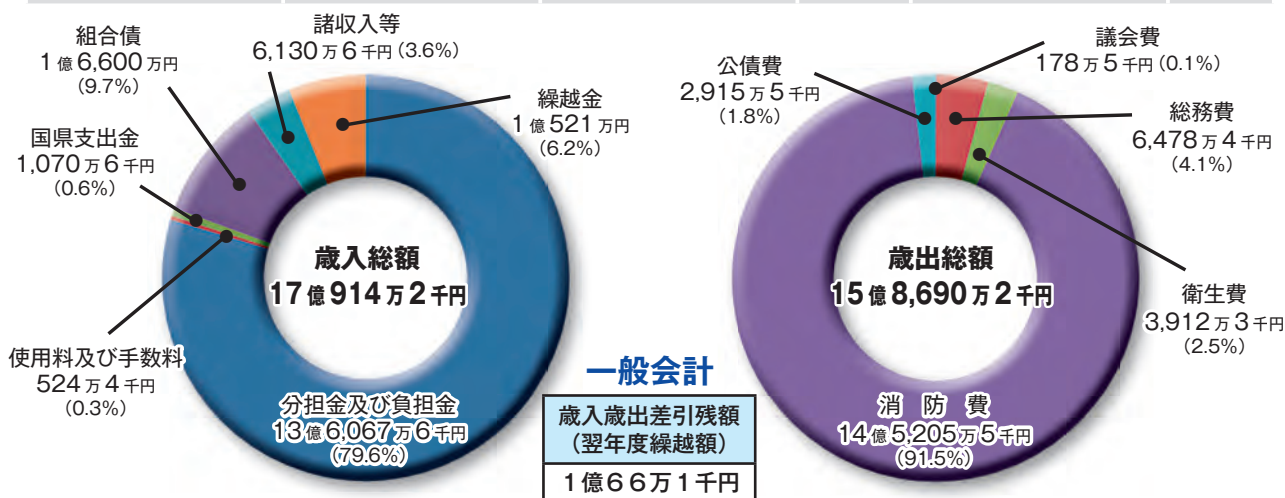
組合の財政状況をお知らせします

相馬地方広域市町村圏組合では、財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき、年2回財政公表をしています。今回は、平成25年度各会計決算のあらましと平成26年度上半期の予算執行状況についてお知らせします。

平成25年度決算

平成25年度の予算執行にあたっては、東日本大震災並びに原子力発電所事故から3年以上経過した今もなお、多くの住民が避難生活を余儀なくされ、構成市町村においては、原子力災害の長期化、風評被害等により、地域コミュニティや経済産業等が崩壊するなど、極めて厳しい行政運営を強いられている現状を踏まえ、事務事業の見直しと経費削減に努めながら、災害に強い安全・安心な地域づくりを推進しました。各会計の決算状況は次のとおりです。

会計	予算現額	歳入決算額	収入率	歳出決算額	執行率
一般会計	17億1,629万1千円	17億 914万2千円	99.6%	15億8,690万2千円	92.5%
看護専門学校特別会計	2億6,387万7千円	2億6,487万6千円	100.4%	2億3,994万6千円	90.9%
合計	19億8,016万8千円	19億7,401万8千円	99.7%	18億2,684万8千円	92.3%



○平成25年度における主要事業

科目	事業名	事業費
衛生費	救急医療対策事業	3,911万7千円
消防費	高機能消防指令施設整備事業	2億4,028万2千円

平成26年度上半期の予算執行状況

(平成26年9月末日現在)

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	15億4,720万7千円	10億3,047万円	66.6%	6億2,313万2千円	40.3%
看護専門学校特別会計	2億6,943万3千円	1億7,333万8千円	64.3%	1億1,894万7千円	44.1%
合計	18億1,664万円	12億 380万8千円	66.3%	7億4,207万9千円	40.8%

■組合債の状況 (平成26年9月末日現在)

区分	未償還元金
消防施設整備事業債	2億6,628万9千円
看護専門学校整備事業債	2億5,821万3千円
合計	5億2,450万2千円

■組合所有財産の状況 (平成26年9月末日現在)

土地	10,940.09㎡
建物	7,851.04㎡
有価証券	786万円
自動車	44台

組合職員を募集します

組合では、平成28年4月1日採用の職員を募集します。募集する職種や採用予定人員、また募集要項の配布時期は、次の通りです。詳細については組合ホームページでお知らせします。

【問合せ先】 事務局総務課

TEL0244-35-0211 FAX0244-36-8932

URL <http://www16.ocn.ne.jp/~s-koiki/>

職種	採用予定人員	募集要項配布時期
事務職員	1名程度	平成27年4月
消防職員	2名程度	平成27年7月
看護教員	1名程度	平成27年4月

消防職員意見発表会を開催しました

第38回相馬地方広域消防職員意見発表会は11月29日、新地町農村環境改善センターで開催されました。

各消防署・分署から8名の消防職員が、これまでの救急活動や震災での体験などを踏まえた今後の防災対策等について意見を発表しました。

最優秀賞は、相馬消防署の久田裕一郎消防副士長が受賞し、「命を繋ぐオレンジのライン。」と題し、津波から住民の避難を導くため、オレンジで色付けした避難路を設けることなどを提案しました。

優秀賞は、南相馬消防署鹿島分署の堀川和成消防士、努力賞は相馬消防署の熊倉雅人消防士が受賞しました。

最優秀賞に選ばれた久田消防副士長は、2月19日に福島市において開催される県大会に出場します。

馬地力広域消防



組合職員の給料などを公表します

相馬地方広域市町村圏組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条の規定に基づき、人事行政の運営等の状況について公表します。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

区 分	人数
平成25年4月1日現在の職員数	171人
退職者等 (H25.4.1 ~ H26.3.31)	12人
採用者等 (H25.4.2 ~ H26.4.1)	8人
平成26年4月1日現在の職員数	167人
増 減 数	△4人

②職員の初任給の状況 (平成26年4月1日現在)

区 分	相馬地方広域市町村圏組合	福島県
一般行政職	142,500円	146,900円
消 防 職	175,100円	181,200円

2 職員の給与の状況

(1) 職員給与等の状況 (平成26年度予算)

区 分	人数・金額等
職 員 数 (A)	169人
給 料	5億9,575万7千円
職 員 手 当	1億5,034万4千円
期 末 勤 勉 手 当	2億1,700万1千円
合 計 (B)	9億6,310万2千円
一人当たりの給与費 (B/A)	569万9千円

(2) 職員の平均給料月額、初任給の状況

①平均給料月額の状況 (平成26年4月1日)

区 分	一般行政職	消 防 職
平均年齢	37.07歳	36.09歳
平均給料月額	305,814円	281,752円
平均給与月額	352,790円	353,308円

※平均給与月額とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当等の諸手当の額を合計したもので、期末・勤勉手当、退職手当及び児童手当を含みません。

(3) 職員の手当の状況

①期末、勤勉手当の状況 (平成26年4月1日現在)

区 分	支給月数
期 末 手 当	2.55月分
勤 勉 手 当	1.35月分
合 計	3.90月分

(加算措置の状況)
職制上の段階、職務の級等による加算措置・職務加算5～20%

②特別職の報酬の状況 (平成26年4月1日現在)

区 分	人員	報 酬
管 理 者	1人	なし
副 管 理 者	3人	なし
議 長	1人	年額 70,000円
副 議 長	1人	年額 65,000円
議 員	10人	年額 60,000円